

東京大学医科学研究所倫理審査委員会第一委員会 令和4年度第1回議事要旨

日時： 令和4年4月21日（木） 10:00～11:15
場所： 双方向の円滑な意思疎通が可能な遠隔会議システムを利用したビデオ会議
出席者： 長村（文）委員長
須田、高橋、關、渋谷、岡田、堤の各委員
欠席者： 小池委員
陪席者： 研究倫理支援室神里准教授、佐藤学術専門職員、有澤特任研究員
高山研究支援課長、研究推進チーム 堀口係長、小藪一般職員、上村一般職員

（議事）

1. 倫理審査委員研修

「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の改正について

研究倫理支援室から指針改正に関する説明があったのち、質疑応答が行われた。

2. 倫理審査申請書の審査

1) 2022-1

「プロスポーツの選手・スタッフらを対象にした新型コロナウイルス感染症に関する検査の評価」

（申請者：健康医療インテリジェンス分野・教授・井元 清哉）

（審査依頼：大阪大学）

申請者である井元 清哉教授および共同研究者の大阪大学 村上 道夫特任教授から本件の申請内容および事前審査による委員からの指摘への対応について説明があり、適切に対応がなされていることを確認した。

審議の結果、特に問題等なく、これを承認することとした。

2) 2020-16（変更）

「急性骨髄性白血病における免疫チェックポイント分子の発現と遺伝子/染色体異常との関連の解析と新規治療法の開発」

（申請者：造血病態制御学分野・教授・南谷 泰仁）

申請者である南谷 泰仁教授から本件の申請内容について説明があった。次いで、研究上必要な検査について質疑応答が行われた。

審議の結果、以下の点を条件に承認することとした。

- ・研究計画書および説明文書の血液採取に関する記載を整備すること。

3) 30-100（変更）

「健常人および様々なヒト自己炎症性疾患における To11 様受容体の発現解析」

（申請者：感染遺伝学分野・教授・三宅 健介）

申請者である三宅 健介教授から本件の申請内容および事前審査による委員からの指摘への対応について説明があり、適切に対応がなされていることを確認した。次いで、ドレスデン大学との情報共有について質疑応答が行われた。

審議の結果、特に問題等の指摘はなく、これを承認することとした。

4) 2019-5 (変更)

「ヒト iPS 細胞由来オルガノイドを用いた移植治療法の研究開発」

(申請者：再生医学分野、幹細胞プロセッシング/ステムセルバンク・教授・谷口 英樹)

本件の変更内容および事前審査による委員からの指摘への対応について、適切に対応がなされていることを確認した。審議の結果、特に問題等の指摘はなく、これを承認することとした。

5) 2020-64 (変更)

「臍帯由来細胞外小胞 (エクソソーム) を用いた新規免疫療法の開発」

(申請者：セルプロセッシング・輸血部・准教授・長村 登紀子)

本件の変更内容および事前審査による委員からの指摘への対応について、適切に対応がなされていることを確認した。審議の結果、特に問題等の指摘はなく、これを承認することとした。

なお、本研究の関係者である長村委員長は、本件の審議・採決に不参加であった。

6) 30-55 (変更)

「自家周産期付属物由来細胞を活用した新規細胞治療法の開発」

(申請者：セルプロセッシング・輸血部・准教授・長村 登紀子)

本件の変更内容および事前審査による委員からの指摘への対応について、適切に対応がなされていることを確認した。審議の結果、特に問題等の指摘はなく、これを承認することとした。

なお、本研究の関係者である長村委員長は、本件の審議・採決に不参加であった。

3. 修正等の報告 ※前回等委員会の指示事項に対する修正承認等の報告

委員長から、以下の申請の委員会指摘事項に対する修正の承認について説明があり、了承された。

<令和3年度>

・2021-79 (変更) (修正) 【パネルA】

「COVID-19 の病態解析と予防に関する研究」

(申請者：感染症分野・准教授・堤 武也)

4. 迅速審査の報告 ※迅速審査における承認の報告

委員長から、以下の申請について迅速審査により承認された旨説明があり、了承された。

・2021-81 (変更)

「難治性呼吸器腫瘍等における全ゲノムシーケンスデータ、RNA シークエンスデータの解析」

(申請者：健康医療インテリジェンス分野・教授・井元 清哉)

・2021-66 (変更)

「造血幹細胞移植療法後の移植片対宿主病 (GVHD) に対する新規 T 細胞機能測定法を用いた診断技術の臨床的有用性の検討」

(申請者：革新的診断技術応用基盤社会連携研究部門・特任准教授・安井 寛)

(審査依頼：都立駒込病院)

- ・ 2021-79 (変更)
 「COVID-19の病態解析と予防に関する研究」
 (申請者: 感染症分野・准教授・堤 武也)
- ・ 30-96 (変更)
 「ヒストンメチル化酵素 EZH1/2 二重阻害剤を用いた HIV-1 感染症研究」
 (申請者: 感染症分野・教授・四柳 宏)
- ・ 30-77 (変更)
 「ヒト検体からのインフルエンザウイルス分離」
 (申請者: ウイルス感染部門・特任教授・河岡 義裕)
- ・ 29-71 (変更)
 「インフルエンザ罹患患者における免疫応答の解析(継続研究)」
 (申請者: ウイルス感染部門・特任教授・河岡 義裕)
- ・ 2020-3 (変更)
 「脆弱性骨折(股関節・手関節)術後の骨粗鬆症治療薬使用実態に関する研究」
 (申請者: 関節外科・助教・大野 久美子)
- ・ 30-19 (変更)
 「造血器腫瘍特異的な表面抗原の探索と治療開発への応用」
 (申請者: 細胞療法分野・教授・北村 俊雄)
- ・ 2021-91 (変更)
 「遺伝子改変 T 細胞療法の機能評価技術の開発のための研究」
 (申請者: 革新的診断技術応用基盤社会連携研究部門・特任准教授・安井 寛)
 (審査依頼: シスメックス株式会社中央研究所)
- ・ 29-80 (変更)
 「t(8;21)急性骨髄性白血病の発症メカニズムの解析」
 (申請者: 細胞療法分野・助教・福山 朋房)
- ・ 2021-44 (変更)
 「老化細胞除去療法による再生促進と臍帯由来間葉系細胞との併用効果の研究」
 (申請者: 癌防御シグナル分野・教授・中西 真)
- ・ 2021-79 (変更)
 「COVID-19の病態解析と予防に関する研究」
 (申請者: 感染症分野・准教授・堤 武也)
- ・ 2021-104
 「泌尿器科疾患の臨床指標・治療成績・予後に関する包括的調査」
 (申請者: 泌尿器科・特任講師・高橋 さゆり)
- ・ 2021-102
 「がん患者血清を用いた自己抗体プロファイリングによる診断マーカーの探索」
 (申請者: シークエンス技術開発分野・連携教授・松田 浩一)
 (審査依頼: 東京大学大学院新領域創成科学研究科)
- ・ 2021-9 (変更)
 「薬理疫学的アプローチによる妊婦に対するマラリア治療の最適化の探究」
 (申請者: 感染症分野・助教・齋藤 真)
- ・ 2019-16 (変更)
 「腫瘍由来循環 DNA を用いた移植後微小残存急性リンパ性白血病病変に関する多施設共同前方視的解析研究」
 (申請者: 附属病院 血液腫瘍内科/輸血部(併任)・助教・横山 和明)
- ・ 2021-7 (変更)

- 「新型コロナウイルスに対する不活化ワクチン第 I / II 相試験残余検体を用いたオミックス解析に関する臨床研究」
(申請者：ウイルス感染部門・特任教授・河岡 義裕)
・ 30-78 (変更)
- 「骨軟部腫瘍のゲノムコンソーシアム運営とマルチオミックス解析研究」
(申請者：シーケンス技術開発分野・連携教授・松田 浩一)
・ 30-97 (変更)
- 「悪性腫瘍に対するネオ抗原ペプチドパルス樹状細胞を用いた個別化ワクチン療法の開発 - 製法開発に関する研究 -」
(申請者：臨床精密研究基盤社会連携研究部門・特任教授・高橋 聡)
・ 2021-79 (変更)
- 「COVID-19 の病態解析と予防に関する研究」
(申請者：感染症分野・准教授・堤 武也)
(審査依頼：千葉大学)
(審査依頼：横浜市立大学)
(審査依頼：順天堂大学)
・ 2021-107
- 「同種造血幹細胞移植患者における肝中心静脈閉塞症 (VOD) / 類洞閉塞症候群 (SOS) についての解析」
(申請者：臨床精密研究基盤社会連携研究部門・特任研究員・加藤 せい子)
・ 2019-33 (変更)
- 「造血器疾患の臨床検体を用いた新規治療法の開発」
(申請者：造血病態制御学分野・准教授・小沼 貴晶)
・ 2021-47 (変更)
- 「CRISPR-Cas3 のヒト iPS 細胞への応用可能性の検討」
(申請者：先進動物ゲノム研究分野・教授・真下 知士)
・ 29-77 (変更)
- 「薬剤耐性がん細胞を標的とした治療感受性シグナルの同定による個別化がん治療戦略開発」
(申請者：先進病態モデル研究分野・教授・山田 泰広)
・ 2021-108
- 「臍帯血及び臍帯由来細胞等を用いた新規免疫細胞療法の開発」
(申請者：セルプロセッシング・輸血部・准教授・長村 登紀子)
・ 2021-109
- 「臍帯血移植における移植後早期のシクロスポリンからステロイドへの置換が予後に及ぼす影響」
(申請者：造血病態制御学分野・准教授・小沼 貴晶)
・ 2021-110
- 「臍帯血移植における過大腎排泄及び尿中ナトリウム・カリウム排泄量が予後に及ぼす影響」
(申請者：造血病態制御学分野・准教授・小沼 貴晶)
・ 30-106
- 「HIV 感染者もしくは HBV 感染者におけるテノフォビルアラフェナミド (TAF) 治療薬に関する研究」
(申請者：感染症分野・特任講師・古賀 道子)
・ 30-105
- 「HIV 感染者における NAFLD/NASH の病態把握に関する研究」
(申請者：感染症分野・特任講師・古賀 道子)
・ 30-109
- 「HIV/肝炎ウイルス重複感染者および HIV 単独感染者の臨床学的相違」
(申請者：感染症分野・特任講師・古賀 道子)

- 30-110
「HIV 関連神経認知障害に関する研究」
(申請者：感染症分野・特任講師・古賀 道子)
- 2020-41
「遺体における新型コロナウイルスの感染性に関する評価研究」
(申請者：ウイルス感染部門・特任教授・河岡 義裕)
- 2019-71
「新型コロナウイルスの制圧にむけた解析」
(申請者：ウイルス感染部門・特任教授・河岡 義裕)
- 2021-92
「解析・データセンターのゲノムデータベース、臨床情報データベースの利活用に関する研究」
(申請者：健康医療インテリジェンス分野・教授・井元 清哉)
- 2019-1
「HIV 感染者の栄養食事指導におけるアプローチに関する検討」
(申請者：附属病院 腫瘍・総合内科・講師・松原 康朗)

5. 前回（令和3年度第10回、令和3年度第11回第一委員会）議事要旨の内容について承認した。

6. 研究実施状況報告書について

倫理審査委員会にて承認された課題の実施状況報告書について確認した。

7. その他

研究推進チームから委員に対して、利益相反自己申告書を提出するよう、申し出があった。

また、研究倫理支援室から、次回以降の委員会において、指針改正に関する研修（倫理審査前に20分程度）、そしてweb懇親会（倫理審査終了後）を行う旨が伝えられた。

以上